

報道関係者各位

ご案内

不妊当事者の要望が実現に向け、動き出しました！

【速報】不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟 設立総会にて発表

NPO 法人 Fine (Fertility Information Network=ファイン) <https://j-fine.jp/>

不妊治療患者をはじめ不妊で悩む人をサポートするセルフサポートグループ「NPO 法人Fine (ファイン)」は、6月16日に衆議院第一議員会館で行なわれた、自由民主党内国会議員連盟「不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟」の設立総会にオブザーバーとして参列し、Fine代表・松本亜樹子が不妊治療を取り巻く環境や不妊当事者が抱える課題についての概要を発表し、当事者の苦境を訴えました。

設立総会では、規約と人事の承認、厚生労働省から「不妊治療に対する支援について」の説明、質疑応答などが行なわれました。今後、経済的な負担の軽減を中心とした保険適用をはじめとする政策などや、安心して不妊治療に臨める環境づくりについての議論が開始されるとのことです。

「待ったなしの出生数減少により、少子化社会対策大綱に不妊治療が取り上げられた。加えてこの議員連盟の設立により、今後の不妊治療は大きく変わると感じている」 (Fine代表・松本)

Fineでは、2004年の設立当初より、不妊治療には「身体的、精神的、経済的、時間的」の4つの負担があると提唱してきました。中でも経済的負担と時間的負担は、当事者の大きな悩みになっています。日本で不妊を心配したことがあるカップルは3組に1組、実際に不妊の検査や治療を受けたことがある(または現在受けている)カップルは、5.5組に1組といわれています(*1)。日本で体外受精や顕微授精などの生殖補助医療(ART)によって生まれた子どもは、2017年は56,617人(*2)を数え、その年の出生児全体の約16.7人に1人がARTにより誕生したことになります(*3)。さらに累積では約60万人がARTで誕生しています(*2)。不妊治療が一般化する一方で、治療の多くが保険適用外であることから不妊当事者は経済的な悩みをはじめ、仕事との両立などさまざまなストレスを抱えています。こうした不妊当事者が置かれている環境の改善をめざし、Fineは今後も国政の場に不妊当事者の実情と要望を伝えていきます。現在は、不妊治療施設の現状と患者の病院選びにおけるニーズを探るための、「病院選びのポイントアンケート 2020」(<https://questant.jp/q/EL42EYQ8>)を実施中です。この結果をもって、さらに国政の場に要望を行なっていく予定です。



【右から野田議員、甘利議員、櫻田議員、Fine 代表・松本】



【会場の様子】

◎開催概要

不妊治療への支援拡充を目指す議員連盟設立総会
(不妊治療への支援拡充と、安心して不妊治療に臨める環境づくりを目指す議員連盟)
日時：2020年6月16日(火) 8時~9時
場所：衆議院第一議員会館 地下1F大会議室

自由民主党議員連盟メンバー 全59名(6月16日現在)

会 長：甘利 明衆議院議員

副 会 長：田村憲久衆議院議員、櫻田義孝衆議院議員、小淵優子衆議院議員、
松山政司参議院議員、古川俊治参議院議員

幹 事 長：野田聖子衆議院議員

事務局長：和田政宗参議院議員 他

(*1) 国立社会保障人口問題研究所「第15回出生動向基本調査」(2015年6月)

http://www.ipss.go.jp/ps-doukou/j/doukou15/NFS15_report4.pdf

(*2) 生殖補助医療による出生児数(2017年累計出生児数)は『日本産科婦人科学会雑誌第71巻第11号』より引用。

<http://fa.kyorin.co.jp/isog/readPDF.php?file=71/11/071112509.pdf>

(*3) 2017年(平成29年)の出生数は、「人口動態統計」(厚生労働省)による。

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei17/index.html>

◆NPO 法人 Fine の活動(抜粋)◆

「どうする? 教えて! 病院選びのポイントアンケート 2020」実施中(締切:2020年7月末予定)

不妊・不育症治療患者の病院探しや通院にかかわる現状とニーズを把握し、患者一人ひとりが納得のいく治療を受けられるよう、治療環境の向上のためのアンケートを実施しています。

<https://questant.jp/q/EL42EYQ8>

2018年~2019年「不妊治療と経済的負担に関するアンケート2018」(回答者数/1,576名)

※参考：<https://j-fine.jp/activity/enquate/index.html>

不妊ピア・カウンセラー養成講座「ライセンス取得1年短期集中コース」受講生募集中

孤立しがちな不妊当事者の心に寄り添うサポートをめざして、ピア・カウンセリングの心理的知識と技術を学ぶ、他に類を見ない講座です。「ピア」とは「同じ立場の仲間」という意味で、Fine認定ピア・カウンセラーは全員が不妊体験者です。

○通常の「ライセンス取得コース(2年)」よりも30,000円お得なコース

○申込み期間：2020年4月19日~8月20日 <https://j-fine.jp/e-pia/course2020.html>

第11回目「不妊患者の経済的負担の軽減等のための署名活動」実施中(締切:2021年4月30日)

不妊患者の経済的負担の軽減を求めて2007年に第1回目の国会請願を実施。

2011年5月の第4回目の国会請願では、約20,500名の署名が集まり、初めて衆議院で採択、内閣に送付されました。2013年5月、第6回目の国会請願を行ないました。現在、第11回目の署名活動を実施中。

※参考：<https://j-fine.jp/activity/act/shomei.html>

~Fine 会員は約2,400名 Fine SNS 会員は約1,950名(2020年6月現在)~

NPO 法人 Fine (ファイン) <https://j-fine.jp/>
〒135-0042 東京都江東区木場 6-11-5-201 TEL 03-5665-1605 FAX 03-5665-1606
* 常駐ではありませんので、できるだけメールにてお問い合わせいただければ幸いです
E-mail ◆NPO 法人 Fine 広報窓口：finekouhou@j-fine.jp